

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 第 12 条第 1 項 第 30 条第 1 項 の規定により、許可を申請します。 ○○年○○月○○日 ○ ○ 県 知 事 殿 申請者 氏名 ○○ ○○				※手数料欄	
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)		○○県○○市○○丁目○○ 株式会社○○開発 ○○ ○○ (○○県○○市○○丁目○○ 代表取締役 ○○ ○○)			
2 設計者住所氏名		△△県△△市△△丁目△△ 株式会社△△設計 △△ △△			
3 工事施行者住所氏名		◇◇県◇◇市◇◇丁目◇◇ 株式会社◇◇建設 ◇◇ ◇◇			
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)		□□県□□市□□丁目□□番 1、□□番 2 の一部 (緯度：◎◎度◎◎分◎秒、経度：◎◎度◎◎分◎秒)			
5 土地の面積		527.99 平方メートル			
6 工事着手前の土地利用状況		原野			
7 工事完了後の土地利用		宅地(住宅建築あり)			
8 盛土のタイプ		平地盛土・ 腹付け盛土 ・谷埋め盛土			
9 土地の地形		溪流等への該当 有・ 無			
10 工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	1.85 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	527.99 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	424.7 立方メートル		
		切土	5.0 立方メートル		
	ニ 擁壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
		別紙 1 のとおり		メートル	メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長
		該当なし		メートル	メートル
	ヘ 排水施設	番 号	種 類	内法寸法	延 長
		1	U 型側溝	30 センチ	62.54 メートル
		2	集水桝	30 センチ	3 箇所
		3	雨水桝	20 センチ	3 箇所
	ト 崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護			
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	崖とは反対方向に排水勾配を設定				
リ 工事中の危害防止のための措置	・工事区域内にバリケードを設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理				
ヌ その他の措置	なし				
ル 工事着手予定年月日	○○ 年 ○○ 月 ○○ 日				
ロ 工事完了予定年月日	○○ 年 ○○ 月 ○○ 日				
ワ 工程の概要	別紙 2 のとおり				
11 その他必要な事項		○○法○条の許可を取得済み			
※受付欄		※決裁欄		※許可番号欄	
年 月 日				年 月 日	
第 号				第 号	
係員氏名				係員氏名	

<申請者>(注2)
法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入

<工事主住所氏名>(注3)
法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入

<設計者住所氏名>(注4)
資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印

<工事施行者住所氏名>(注5)
未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出

<代表地点の緯度経度>
(注6、留意事項 4 1.(2)①イ)
代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入

<工事着手前の土地利用状況>
(留意事項 4 1.(2)①ロ)
宅地、農地等又は公共施設用地のうち該当するものを記入

<工事完了後の土地利用>
(留意事項 4 1.(2)①ロ)
宅地、農地等又は公共施設用地のうち該当するもの及び建築物等の建築の有無等の具体的な内容を記入

<盛土のタイプ>
(注7、留意事項 2 1.)
該当する盛土のタイプに○印
(1)平地盛土：勾配 1/10 以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
(2)腹付け盛土：勾配 1/10 超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
(3)谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

<土地の地形>
(注8、留意事項 4 1.(2)①ハ)
溪流等への該当の有無のいずれかに○印
・溪流等とは、山間部における河川の流水が継続して存する土地その他の宅地造成又は特定盛土等に伴い災害が生ずるおそれが特に大きいもの
・具体的には、地形図等を用いて判読された溪床勾配 10 度以上の一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が 25m 以内の範囲を基本とするが、都道府県等は現地の状況に応じて溪流等の範囲を変更することも可能

<その他必要な事項>(注9)
宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の状況の状況を記入

〔注意〕

- 1 ※印のある欄は記入しないでください。
- 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 4 2 欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 5 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 6 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 7 8 欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 8 9 欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 9 11 欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。